農業基本法の制定等の一連の措置
うに四年前に設置を見、既に来年

経済機構の改革死験を目ざした。科光実の今日の社会情勢に貼るよ

場の設置については現在ある際沢

設

備

充 実

前 進

勢の各方面に関力其つ早急に行な 育學科課程の整備教育施設の充実

との事である。

昭和二十六年来の要望であった

の実現に努力しておられる。

応じた適切な処置を学生諸君の制 は農飲医学部に益々時代の趨勢に

学院修士並びに博士課程を時候中

により殷助等台弾化委員会が木年 からこの問題を解抉するこの方針 の殷場のより合理化を行ないその のべており、また農学科の研究師 その実現に努力することを明確に

中である。

一環として機場会体としての観点

設置されることになっており、す 度より設置工学科と食品工学科が ースが開設され、また新たに来年 随ぎるのを目的とした拓珈界修コ 農業経済学科の中に世界市場に話

(投資の選任)

D年金 100円

イ大会三〇〇円

くととができる

一月に発足し、耐米討議を用ねそ

までになり、更に引きつづいて大 度には第一回の卒業生を逃

並んならぬ御が力により理工系学・感の中で三ヵ年計画による大学用

学当局に強く安請した結果当局の

中に記載された古田会員の年頭所 いてもその必要性を探く認められ 水産学科の契督船は本部当局にお

り同じく良い化学科の権士並びに 調を見、また前近の知く来年度よ 農学料畜産学専攻の博士課程の開

優秀な機粒請者の社会に集立ち行

第八条

会设は本会を代表して会務を統括し、理事会に

昭和二十六年五月二十五日改正

経て会長がこれを定める。

(党員の職務)

大学院については本年四月より

出され校友会としてその設置を大 本年一月十日発行の日本大学学報

選挙専攻の卒業生を中心として提 農芸化学科設置の要望が農学科設 うことを要求している。六年前に



日本大学屋猷医学部 校 友 会

第一条 本会は日本大学段獣医学部校友会という

日本大学農獣医学部校友会々則

し、ただちに織事に入り、まず昭和三十五年度の経過報告 で開朝された。
譲長に工順正城氏(拓植学科分会)
摂記に が佐々木市務局長により行われた。 高坂氏(農業経済学科分会)坪木氏(農学科分会)を選任 改正による総会が九年目に百余名の校友が集って学常新館 昭和三十六年六月十七日午後一所三十分から校友会の公司

情で困難なため評議員会をもって 条)と、各挙列の出身者で組織 置し、従来の公別の評議員会制度 会の中に会則改正に関する表目 会の組織を改めたことで、理事 ○経過報告第一は会則を改正して、る。第二は学部の設備充決に関し との代りとしていたのを廃し、総 は従来総会が削くことが種々の事一を学得当局に手渡すなどのことが うことになっていた。その主な点 の改正の快進を行った(旧会則に その他につき木が校友会おより他 会感和三十五年月六日版 る語れた 精果、 昭和三十六年五月 学部校友会の公別を参照して討議 「赤磯隠したこと(第一条)であ、験研究に非常な支険を楽しており れば会別改正では評議員会で行 十五日の評議以会において会則 進するための契約があり、また膜 度ととに早急に建設するよう努力 びに大学本部当局にお願いしその ら水産学科として是非共実質船が てで、これは昨年四月十八日の理 の時間を必要とするので種々の実 在地に移転して以来、闘弱运和当 学科分会の山本氏から順沢から現 との説明、ならびにこの運動を抑 あったが、末だ解抉の見込がない するとの回答があり、また昭和二 和二十六年ころから度々学部なら 必要でありとのことについては昭 事会の席上水廠料分会の松尼氏か 建設の基金の一部として「干万円 士三年 十一月には 水斑学科 分会 (桜水会) で校友から好金しその 解抉するとの学習長の説明があり 藤沢殷琳の整備の一環として併せ

る。第二は公報の発行で学部祭前 予算とは一体のものであり予算の 継続して木年度の事業計画とした 限り新郷事に委任してはどの発言 第三号職案 に移り、卯務局提上 会で決定し各分会に資料を依頼し 時の作製でとの作については刑事 立案がなくして非然計画はあり得 いとの発言があったが非常計画と 光実促地の理判、 会報の発行等を 度の事業であり名前の発行、敗倒 く切り強ったのであるから今回に り予算については組織が全て新し 士一戸士五日)行った。つづいて 評議員の忘年会を(昭和三十五年 和三十五年十月十七日)また理事 超を兼ねて帰国歓迎会を行い(昭 秦 (昭和三十五年六月) 干四日) のヨーロッパ視察に際し、飲送会 見込みである。その他岩田学部長 の十月下旬に発行した。第四は名 らんことを努力中とのことであ があり質成されたのでさらに前年 者につき 万場一致で 承認された。 各分会から推せんされた理事候補 帰国されてから学長就任学商長二 てあるので本年度には発行される 学科の博士課程はその一日も単か うな見通しがつき、また世祭経済 骨折に上り粒型通り開設出来るよ 芸化学科の大学院は関係各位の御 (昭和三十六年一月二十七日) 農

躍進に即応した総会 一四年記念が築の一部として建治す 日会を学部内に般戦して、現在の 局の深い理解と努力により実習船 和三十六月一月二十七日には学郎 **育があり、殷場は韓場等合理化委** るとの古田会論の年頭所越中の発 は三ヵ年計画で行つ日大翔立七〇 成のために努力しており、幸に当 長および卯務長と会合して目的達 和三十五年六月二十七月には岩田 を理事公内に設けた。その後十九 ることに決し設備充実対策委員会 道災現を大学当局に強力に廻動す てこれらの問題にたいし、その推 それぞれあり、各知事とも一致し 学院時士課程散置の要望の提案が 会(いもつる会)の米米氏から大 課程設置の要望、農業経済学科分 関氏から農芸化学科の大学院修士 う要望したいとの提案があり、ま ところに研究園場を設置されるよ 学部から三十分以内程度の交通の 学部技に要配置を提出し、また昭 則にわたる各種の会合を開き、昭 左腰花学科分会 (蝦友会)の小 ないという 発言が あり、また総

(正文)

郷四条 本会は前条の目的を達成するために次の事 学の振興に寄与することを目的とする

第五条 木会は次にあげる音を以て会員とする 3その他本会の目的達成に必要なこと 2公口名牌の作製 1公報の発行

ゆ会員
日本大学段獣医学部関係各学科の在学生 特別会員日本大学的獣医学部教徒日並びに本会 正会員
日本大学問核医学部関係各学科の卒業生 会において承認された省 並びに三名以上の会けより推四される、且理事

に特に功労があって理事会の推問したもの 第十二条 (委員会の設置) 4 事務局長は会議において報告する。 8

第六条 木会に次の役員をおく 理 事 若干名 会投一名 臨事三名 剛会長 三名 2役員の任期は一カ年とする、但し再任を妨けな 第十三条 本会の経費は次の収入を以ってこれにも 2委員会の規定は別に定める 1本会の事業が遅ばするため、必戒あるときは語 市会の議を経て委員会をおくことができる。

3補欠で就任した役員の任期は前任者の残任期間 4校員は任期鎖了後も後任省の就任するまでその 任務を行つものとする SIGN 第十四条 本会の会費は次の通りとする。 3その他の収入 金 1金 2竹付金

てる

5以上の役員の畑、名誉会長、顧問、相談役をお

立七十周年記念印撰の一部としてすめられている。学部においては

(以下二面につょく)

り敬意と感出の念を表し更により の一方ならぬ御努力に対し契心よ からの拍手を造ると共に大学当局 でに殆んど紙伽な終っているどの 校友として母校学部の降低に心 第七条 超出する 1会長、明会長は理事会に於て宜選する 2理事及び監事は総会に於て、正会員中より夫々 第十六条
この会別に必要な個別は理事会の職決を 第十五条 本会則の改正は理事会並びに総会の議を において、出席者の三分の一以上の實成を必要と

経なければならない。その決定に当っては各会議

福島正 92

保

山根縣

既然我孩学 飲医学

編集発行者 会報発行委員会 印刷所 東京班工KK 第二条 第三条 本会は会員相互の規腔を図り、併せて本大 2各学科別に分会をおく 3分会に関する規定は別に定める 本大学設計医学部内におく 1本会は事務所を東京都世田谷区下居三の四九日 第九条 金 近かる

2会職は会長が招集し、職長はその都 度退出す 3総会は毎年一回これを開く、但し必要に応じ臨 1会議は総会及び理事会の一つとする。 時に開くことが出来る。

第十一条 第十条 会議の議決方法は出席者の過半数により (非務局の設置) れを挟する。可否回数の時は抉定を保留する。

小腿

海

農芸化学

楽

2和務局長は理事会の承認を経て会長が任命す 3 事務局長は会員中より若干の局員を任命し得 1本会に事務局を設置する。 る

> 安 聯本和然 19

選 學治郎

图图

大船俊 加地正

Ξ 佐 H 野 白 来米速 * 服 85 網 Щ 貞次郎 際発程技術

北 I 後 出 松 干 應 上野喜 静正 斑 Æ 蒸腳 111 野 栄 类 古 z 水 拓 M

六昭 年 度 二 十 日 名

4 監邦は本会の経理状況及び製務の執行状況を監 2回会長は会長を補佐し、必要に応じて会長の職 3頭耶は理耶会を組織し、耶業の執行に当る 従ってその執行にあたる 常任委員 会 是 常任委員 長

常任委員会 長

然任委員 常任委員山本秀雄 事山本秀雄 工際正城 加地正光 松尾栄之 佐雕弘 矢 鳥 野太郎 渊 膜

本大学農獣医学部校友会役員名簿 出身学科

專點局長 23 佐大木 田 秀 水産

ると、大学祭の準備が始まる。 学生にとって頭の痛い試験が終一で土五期四〇〇名の校友が各界の 大 学 祭

て来ました。

秋も探索って文化の日も近づい

以来、学生の機場学習は趣沢の競

場で行なえますが実験研究の簡単

第一線に問題しておられる事で脚

ならならぬ努力をはらって用り、 ち此の研究園場設置に関してなみ

け、研究領域、実習船建設対策要

農獣医学圏校友会も之れを取り上

日会を作り、本会の山本会長も実

期の卒業生が単立って以来、今年一来たして居り、友闘学校会として

は何も無く研究にも重大な支障を

会を皮切りに、各種球技や楽別道 祭は、十月十五日に国立競技場で一致しますので、遺隔の方も東京に 行なわれる。しかし大学条体のお 部の特色な生かした学常祭の鰡が一が、群学校友会も三日、文化の日 行なわれないで、各学部で十一月 | 総会通知 本年も十一月一日、二 おれる 行なわれる、オール日大隣上競技、出掛けることがありましたら慢型 相撲などの試合がつづいて行な 今年はオール日大合同大学祭は、問題に堪えません。 総会に出席して頂き度いと考えて に郷九回の総会及び懇親会を開催 日、三日と大学祭が行なわれます 同ります。

収扱パレードが三軒茶屋付近を親 に移ってゆく。 り歩き、夜のファイヤーストーム に前後祭を行ない、午後一時から 学際祭は七学科の学生が科別の

続の鉢作り、 畜産ではハム・ソー 即売するものは、概学でパラ苗、 得んものら、協切っておりまし 白い旭川を凝らした難しを、帰り 設け、今まで研究した実績や、面 研究班出位で教室・実験座に常 でらいて関連しようという手定で 脱化でその腎器を、市価の半額 セージ、林学で植木の苗木、水取、 沢山かかけて、先報諸兄の孤繁を

はコーヒーをサービスするなどと 金、薬道学内対抗試合が行なわれ 体として大分まと言って来ており 色々な行事を行なう予定である。 ツバーラーを開居し、海外研究班 玄子学生の茶の間の接待が行なわ 三日間にわたり映画会、空事演画 本年は学生数は多いが、大学全 また明しものでは、大磯堂で、 関哲師で安くて美味なフルー 一で題るのも有数義のことと思う。 日を、あの教室、との実験室と見 場も替も今を実団小鼻だが、学生 時代のことを思い出して、秋の一 から三百四川組されます。展示会

個例の学部祭が来る十一月一日

30

畜産学会を開催します。多数校友

の御師湖と郷出席をお願いしま 三百(動労務難の日)に東京飲政

が生地に助教授として、実理に大

表する次がである。

努力に対し収友 | 問鎖腔の割过を | 六一名を世に送り、数に桜水会会

一の本年三月に水産学科は十期生

たえない次切である。

田僧行権士が薬物学の調節として

料団立十四年を記念して懸案の実 水会としては昭和三三年に水産学 口も五〇七名の多きに遊した。桜

西船県治運動をの他を行い、引続

又北朝登場技をされておった古

米校される。

本年度の卒業生は一一三名国家 | き即年度からの学部校友会の事業

(学生課長佐々木弘康)

その意味を含めて来る十一月一十一枚友話兄の多数御来校を持つ、

(一面総会記事つぶき)

果子算案を作製、総会に提出万場

to

総会終了後 学部教職員と共に図

が行われ、午後四時三十分終了し

会芸一名の役員及び窓校友会へ本

学会田席と獣医学教育視察のため、学は金面的に桑原教授が担当され

折角の水人の通知を織いても御期 昨年度に引続き始んと完全就職で 職の方は同盟諸兄の御支授により

新入生を迎え、在学生数は約三百 経コースと合せて、約百五十名の 拓殖コースが新設され、従来の段

年度予算薬の作製、の学階校友公

の二五年度次はの承認、の二六 六月八日-第一四幹班公開報左

引続き今回小組教授がアレルギー に哲学しておった組谷教授が帰朝

一致で可快した。

直ちに新理耶会を聞いて検討の結

白い船し左行なって、先知諸兄に 日ころの研究以外にも協択山の面

楽しんで仰くように、学生一同張

出来ない。校友の関心と助力なく り、この心の終を断ち切ることは 一学舎はやはり校友の心の故郷であ

大きな変動はないが、さきに欧米

その後獣医学科の教授師容には 医学科

即谷に一歩一歩近ずきつへある。 君(昭和三四年卒)が夫々助手に

尚東歌時代より四五年の疑ぎに

で先ず先ずといった所であい。飲 試験の合格率は例年の如く九四%

ース新般に続いて、本年四月から

の機関につき討議決定した。

農業経済学科は、昨年の農協コー

任命されビラミッド型の理想的な 山根次君(十期)病院に青田仁夫 大に居った佐久間勇吹君(十一期) 非難されて来た科内も今年は東北

信り の科学を担当されていた 板垣

先生が大学の調義から避かれ内料

して学館の発展はあり得ない。

第17号

具体限して新知事により予算案を一 しての旧類印金との各種語の登見

校尉して総会、管論してはどの提一その後、会則改正についての事務。なお七月一日 一日の新理事会

教経済学科分合 協田氏 (水産学

科分合の雑民が選出された。

時辺に敷全した。

ン野があり和気あいの裡に午後六

により設備充実促進に関する委員

発組職した。

務局基を決定した。又会的士二条

常任委員五名を選出し、さらに事 の理事会より出席する代表である

数く御支援の程お願いする。

く御礼申上げると共に今後とも近 あげている。紙上をお借りして厚 特に都えないほどで嬉しい歌唱を

内に出来る予定なので、住所、動

致して打ます。

選等上の事項につき種々討議発言し

において野倉間により会と一名前

会別の大きな改正を審議するに際 種々財級が行われ、市務局長しり 会、理事会の性格、権限等につき

氏(獣医学科文会)、山根氏(段 ドリンクラブによるアトラクションに監事三名 の適田に移り福島 四間製造で製製会を行い大学マン

農の学部祭は、十月二十一日

支援をお願い致します。

接渉して廝場設設に努力して戻り

学内校友人事移動

一明佐々木弘

- 研究幽場設置問題 地沢校舎から 康氏(一月)十日) - 南加厚正義 去る二月最後の段而製心学専攻 日本教案の精工場の見学し各地で

ミヨシ油脂、山崎パン、曽田香料、 際でかなり投げであった。 製むといったところで好景気のお 東横森品谷一名、小納品店、仁別 は良好で主な税職先は照印乳業、 生。一十五名が卒業した。 跳撃状況 大歓迎をうけ大いに学科、学部の 四月に新入生日一十名を迎える 有様でまた一拍した人古市では駅 頭に川観光課長の出迎えをうけた PRの校目も果した。 特に招橋市

しかし他大学の見る

1、第一製菓、町印乳菜、森水乳

樂、万有思繫、竹戶畜邱、日府殿

乳菜、山陽パルプなどの一流会社 林、少内聚、延常料、路

科

はひざもきらない有様だが中小企

更に将来は大学院設置にまっ発展 計約四百名の大祭料に成長した。 名、三星生行名、二年生日一十名 點和觀錄、三菱化成、旭化成、新 学旅行に出かけたが遅ば、利正祭 完成したわけで現在四年生六十五 とに

農会化学料の
学部全コースが するもの上思われる。 四年生は去ろ三月九州地方に修 何かと聞かれたりいろいろ考えさ 点がえられたり、雌獣医学部とは
く米粉までには全自就職決定は確 せられる点もあった。 力程度を比較していると思われる 化学

でもあり学部中でもレベルが高く 首席特特生を含む四名の特特生が この四年生は農芸化学の一期生

ているで

アメリかへ立った。教授はかりとることになった。先生の積年の御

勉強のため去る五月柳路出発、 実と思われる。なお四年生佐職職 業の承人には希望者なしの例が多 に一千五名程内定した。現在不人

勝者はブラジルで農産加工技術の

年間飛狂の後帰国することになっ

東京校舎に昭和二十九年に移って、氏、三切高橋文次郎氏、鳥世正氏、八明・見文男、山戸焼臭、九朋大 の研究作品を高麗いただき併せて、ますが、校友緒兄からも略大な即 三期守谷道夫、早野町也、四期玉 では日抜廻りに歓迎のピラが出る 楽、オリエンタル修母、キューピ 理事の改選則に当り十月五日と新 期右野尚武、生大目 久、一五期 農学校交会新役員 本华は幹事、 十三別四出宋一、花形 勝、十四 高機器能、六型石以竖、模 理事 山木秀雄(二) 横山芳雄 た幹事より理事が選出された。 油、昭和産業、概洋抽線、大正製 例をみない程が関ですでに野田器 いる。また脱職状況はここ数和業 木息三、四島部、五期上野動 芳雄、一 明矢岛孝太郎、八卷克己 開級務(一、学内)が決定した。 (一) 矢島寿太郎 (一) 八巻寛己 旧程台会が開かれ各切から遅ばれ 一三、七例石川和夫、宮明敏概、 (二) 玉木皂三四)上野城(五) (五月一日) はそれぞれ助教授に 期別幹事 一期山木秀坦、横山 内光、鈴木駒、十期鈴木保弘、 ます。 ることとかじます。

校友会のため大いに指蹤して頂け 小林干配、提品トキ各出とだり、

年の脱職の時も併せてお回い致し 大角至発生が出ることですので来 校友も是非御仙殿下さい。又来年 ○%が内定することと思いますが が内定数しました。今月中には八 まいつで同りますが十月一日から 学生就職 本年は何処も同じ給人 は様、数型学とも二〇名の 内定が始り現在在特二一名中四名 ムで農学科とも相当な募集が

名を送り出し、四月に新入生五十 五名を迎え、現在学生教約一七〇 林学科はこの三月に卒業生六〇はかり落築させることになってい

例年の通り学問祭の最終日の一

又色々の思い出を呼びおこすよす 又家族の万々と交歓する折にもめ 合い旧交を暖めるよい場所ですし ぐまれないのでお互の状況を話し してしまうと何々よい機会がなく

名、来年の三月にはまた三十三名

O競戦パーティ

店をこしらえ、おでん、や、焼と が年々家拠地れの方々が多くなり 米洋酒のカクテルを主にしました 道照親のバーティを開きます。従 り、等を用型する学生です、卒業 ますので、今回は更に簡単な授疑 一月三日午前一一時から午後五時

聖づす。 〇岡本先生の古代のお祝について で是非参加して下さい、会費は不一健勝をお祈りしたいと思いますの 題日会員各位の御手許に配布の

く関係者の方々が努力しておられ 又続々と質问を得ておりますが我 官好業好共にあけて盛去に行うべ

質配売資金については明年一戸に ありました岡木正行先生の古縁祝

いします。 で校友各位の応分の御賛同を御願 〇数員陣容

大学院博士課程の設置により新

ために御尽力下さるよう期待しま を祈り更に本学帝成学科の興隆の お迎えしました。同先生の御世齢 究に専念しておられた小山進助教 (家布育組学) を収任教員として 工関係がこれについでいる。初任 も相当おり非希な特気がある、水 に迷っている程で既に内定した人 した方が割がよいなどという珍現 人の大部分は解料関係の会社で加 年度の卒業生より減く後から卒業 給も一万七子円から一万円位で昨

授(苗取製造学)水野秀夫助教授 に木里打片が従来東京大学で研

育門は先生が逝去された。

視、禁程として、大いに

くなった。

加藤、佐々木、片陽、健在。

々卒業生としても心 から 即祝い

す。

象もおきている。

8

上々で、数年前のとと系考えるとさいが、びりりときいた人で、学 夢のような気がする。 つ、求人雖のせいか、就職率は しかし、業界に出てから、離も 才則を言われた先生は、体は小 界、薬界に面瞰広く、九月二十日

を持っている。有能だという意味 旦であるということが即ち、実力 林学科卒業生は真面目であるとい がいってくることが、東力の不足 う好評もしはしば耳にする。真面 についてである。その反面、日大 者、三百名をこえたと思われる。 元 期天候の中に実に盛大な葬儀であ の青山斉場における郷機には来会

みな完成で特動しておられる。

右目、戦威、為韓、土意の権先生で止まぬ。

教授で別切って下さる。

三祠、南、图泉、川村、中島

に概問激励してくれるよう期待し

ではないから、どろか、真面目で になってもらいたいものだ。 あり、有地であり、個粒出来る人

今、林学科は、栗田主任教授健 ×

鈴木教授は千郷の山で毎本間在

目結兄の御苑展と共に桜木会の前 化しつくあることを想つとき、企 取り上げられ、着々とこれが現実 としての激倫促近型動の主張目に れることになり、本年四月に出発 当の動動協級的士は米国に留学さ ほ確定の者一〇名、確実には至ら いえないのであって、この点、学 韓国は明年四月の予定しある。 され、見下ハワイで即研究中で、

生・教旨ともにいろいるの点で大

途もまた洋々たるものと何同様に の水産学科教員の動きとしては 桜 水 会

回不年度の入学者は一四一名で 社、総合語合社、化学聚社 んど無く、大部分が中小の簡単会の説順先をみると、大会社はほど ないが、見下池行中の者三〇名、 你である。就職率は現在抉して良 未定一七名となっている。これら

二者、三年去者、四代〇

調師四名、助手一名の師容となっ 期待される。なお、水産植物学担 た。指田平任制即の今後の結婚が 日は教授二名、助教授一名、功任 新潟館が誕生し、これで専任の教 本年四日に陰繁学担当の派田秀男 日現在で、確定した翌一〇名、は あるが、この跳戦状況は九月三〇 名之公 在標百種數四一名(內訳、二年 の不年度至業予定者は七七名で

もづる会

いては、交代したらどの意見も出 場所、会費の決定、のの議場につ 来米速水、三米畝夫氏の三氏に快 ましたが精い従来通り、佐藤弘一

七月一日一定的総会及び懇親会もとうき役員改選の結果、左配の

ことと思います。校友一同に代っ

名となりました。また卒業生も年 **々増加し、会自数は木年をもって**

尽力のしからしむるところと嫉妬 盛に向いますことは校友諸兄の御 五月一五日一三五年度会計商者をしました。

三百名を突破するに至り、巡年職

理事の選出、金定時総会の日時、 女が得り返会でした。

名が、今年の総会で一名に改正さ 案の説明、耶所同案通り承認、③ の三五年度の市祭報告及び快算の 脱明、②本年皮小芸計画及び予算 れました。
の役は改選、新会則に
挙られ、新生活を送っておられる 会団改正、会団第五条の両会技一

投好格視数会を並ねた懲収会を値 しましたところ、多数の来質、校 総会の経過はつぎの通りです。 類品間及にて、島津諸郎の助教 三木 敏夫 (三羽) 鬼塚 光雄 (四 堂前僧也 (十一期) 加藤操 (十一 期)の諸兄が四月以降離伽の典を 鉄峰(十四)小池邦久(十一 会の会計指引を棄むることになり ◎吉報─田川正哉 (七明) 高級

兼島中間師の助教授昇格視の会を 通りきまりました。 会計監事、山根勝次 (六树) 傘子 期) 亦務心社、来米速水 (一期) **芳男** (七押) 尚山楊氏は学館校友 会長編弘一 (一明) 明公長 お待ち下さい。 名簿作成について

W まで伽班格下さい。 に思われます。ついては、住所、 中でありますが、内部だけではな 日と扱り、見下事務局で資料整理 関係の製動を飼存知の方は非務以 動務先等に整節があったり、友人 かなが死金なものとしがたいよう

中し上げ先生の今年の御発展と翻 〇就職状況 農業基本法の選択的拡大による

〇門賽獎金級会

がともなりましょう。個家族連れ

以来の協院で学生の方でその選択 畜鹿科の革発生の求人状況は開散 高度のクローズ・アップのためか 事務局から御通知します、多数会 会を明くよう予定しております。 期日場所等については、週間前に 本年度末期に忘年会を兼ねて経

員の参公を御願いします。 〇名簿整備について 本集五月に住所、勤務先の一斉

間査を行いましたが回封のハガキ 下さい。明年早久名物が出来ます ので該当の方は事務局へ連絡して 変更になった方もあると思います の返送のない方もあり文それ以後

め二カ月程休養、近ころは大分よ たが、な担び党で今年一杯、概託 中、膨から落ちてアキレス離を痛 杉硝光先生は主任教授を辞され 何し三氏付。但し、もつ一つむま 林を守っていてくれるから、校友 け付というのは一人取して山を守 三〇〇円なら高くはないであるう っている概ちゃんをその時は大い 誘羽も利用して下さるよう。 ので配布します。 相変らず、坂本屋二郎君が前習 窗

の後は路谷いているようだ。 にわたって大前坡し、利根川公木 を上めてしまったことがある。そ の傾が中五〇村、長さ一〇〇村位 この春、水上の前週林の事務所 、方の近紀報告を事務当局は持って いる 生は相次いでいるようだが、あま りその方の報告はない。 仕事の方の近況報告と、家庭の 校友の結婚は相次ぎ、次代の出

好とはいえないが、例年就職決定 各種魚具微法の展示その他。増殖 展示内容の概要は、漁業学部門= 学部祭が行われるが、水産学科の るまい。 いに掲載すべき事柄といわねは ◎十一月一日から三日間恒例の

職者の数はかならずしも多いとは の時期は遅い方なので、それ野獣 身につけた理門の技術を生した就 しかし、過去の就職先をみるとき 観したものでもないともいえるが 近日中に送りますから、楽しみに 等及び食品部加物の展示その他。 凍・統訟その他の食品の製造工程 他。水產製造學器門=類製品、冷 魚類の生態、梅斑魚の腹示その 学部門=技術増殖の現状、沿岸性 てお祝い申上げます。尚記な品を 校友公名牌の原稿締切が十月宝